「第 25 回スポーツ環境会議」議事録（要旨）

令和 7 年 1 月 14 日（火）10:00～11:45

本庁舎 6 階 第 2 委員会室

1 出席者

1	岡 浩一朗（学識経験者）	11	加賀美 秋彦（新宿未来創造財団事務局長）
2	神田 隆弘（区スポーツ協会）	12	鈴木 史博（生涯学習スポーツ課長）
3	奈良 和子（区スポーツ推進委員協議会）	13	神崎 章（新宿未来創造財団等担当課長）
4	金子 和子（区レクリエーション協会）	14	袴田 雅夫（地域包括ケア推進課長）
5	村上 光一（区高齢者クラブ連合会）	15	徳永 創（子ども家庭課長）
6	藤原 千里（区障害者団体連絡協議会）	16	小菅 健嗣（みどり公園課長）
7	只野 純市（区青少年育成委員会）	17	齋藤 正之（教育調整課長）
8	武内 隆則（区小学校 PTA 連合会）	18	関本 ますみ（教育支援課長）
9	平田 知子（区中学校 PTA 協議会）		
10	新谷 太郎（スポーツ関連事業者）		

欠席者 4 名

橋本 純（区スポーツ推進委員協議会）※代理出席あり

田中 稔（区町会連合会）

下村 扶美子（公募委員）

南 滋文（公募委員）

渡辺 隆介（障害者福祉課長）

菅野 秀昭（健康政策課長）

机上配付資料

資料 1 新宿区スポーツ環境整備方針（素案）に対する「パブリック・コメントにおける意見要旨と区
の考え方」「地域説明会における意見・質問要旨と回答要旨」

資料 2 新宿区スポーツ環境整備方針（素案）からの主な変更点

資料 3 新宿区スポーツ環境整備方針（案）概要版

資料 4 新宿区スポーツ環境整備方針（案）本編

資料 5 新宿区「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」

チラシ 新宿ゆにスポ！（生涯学習スポーツ課）

チラシ 車いすテニス教室（生涯学習スポーツ課）

チラシ 新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソンジョイントイベント（新宿未来創造財団）

チラシ 新宿区レクリエーション・フォーラム 2024

チラシ パラスポーツ・レクリエーションひろば

2 事務局

新宿区 地域振興部 生涯学習スポーツ課

3 会議内容

(1) 開会

(2) 生涯学習スポーツ課長あいさつ

(3) 学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画について

・教育支援課 情報提供 資料5

<質疑応答>

【平田委員】

今お話しいただいた地域連携というところで、まさに先生の中でも野球部で既に入っていて、子どもたちにもいい影響があると伺っています。もし、地域連携から地域移行になった場合に、3つほど思ったことがあります。やる場所はどうなのか。保護者の経済的な負担はどうなのか。子どもが公立なので受験生ということもあって、今までは部活動が評価のひとつに入ってたんですけど、どういうふうに評価するのか全く切り離すのか、そのあたりがどうなのかかなと思いました。

【教育支援課長】

まさにそういったところが国でも検討会の話題になっているところですので状況を見ながら、判断しながら区もやっていくのかなと思っています。区の検討課題として捉えていきたいと思っています。

【神田委員】

スポーツ協会内の総務会でもこの部活動に対して、協力ができないかというような話は今しているところです。できれば一度そういう機会を設けていただいて、新しく入るのは38団体になるかと思うので、いろんなスポーツだとか、取組みに関して、初めにボタンを掛け違えてしまうと違う方向に行ってしまう。スポーツをやっているとどなたも感じていることがあるかと思うんですが、先ほど指導者によってはよし悪しがあるんだというようなご説明もあったかと思います。これは人間としては好き嫌いがあって、指導者に好き嫌いが出るのは当たり前なんですけど、やはりスポーツ全体として捉えていく中で、大きな目的というのは、子どもたちが離れないで、なるべくひとつの組織など、いろいろなところに集まっていたらいい、まちづくり、人づくりの一環でやられることなんだろうなと感じています。

【教育支援課長】

ご意見ありがとうございます。私たちもどういうふうに進めていけばいいのかという中で、深い課題となっていますので、進展を見ながら、また情報提供を進めながら必要があれば、協会の方とお話するような場を設けたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【武内委員】

部活の件なんですけど、委託された方がコーチをされてたんですけど、大会に行くと熱心な先生が一生懸命やっていると組み立て方でかなわないということがありました。

普段もちろんいい方だし、子どもたちの人気があるんですけど、試合でしか分からないこともあるし、試合でしか学べないことも多くあると思うんです。熱心な先生は熱心な先生で、多分これからも残っていかれると思うんですけど、子どもたちも部活があるので、例えば野球部があるから西早稲田を選ぶとか、部活に対して子どもたちはすごく期待しているところもあります。

一方で、確かにそういう先生の働き方改革について、PTAの会長をやっているのでものすごく目の当たりにしてるんで、よく分かってるんですけども、子どもたちになんか組み立て方をこれぐらいは教えてほしいよね、っていう親たちとの話では、本当に残念だったねっていうところがありました。レベルの均等化というか、そういうところもあるかと思いますが、どういうふう考えていらっしゃるのでしょうか。

【教育支援課長】

ありがとうございます。部活動を委託という形で指導員を派遣して、というようなやり方をしています。そういった中でも業者との間で研修も実施して、学校に入るための知識や技術的なところで、こちらの希望に沿うような方、また、その方の技量を上げてもらうというようなことについても業者と話し合っています。それから学校の部活動の魅力についても、全体を進めていく中で議論が欠かせないというふうには思っていますので、しっかり認識しながらやっていきたいと思っています。

【岡委員】

資料のこの1ページめくった取組みに関して、成果をどうというふうに判断していくのかというところで指標を2つ挙げていただいているんですが、おそらく下の方は部活動が負担であるという調査をしていると思うので、その数字が変化すればいいんでしょうけど、このひとつ目は、子どもたちが現状の部活に不満を抱いているか、そういうデータがあるのですか。この資料にはなかったのでものを確認をしたいなと思います。

【教育支援課長】

質問ありがとうございます。両方とも児童生徒に対してアンケート、それから、教員についてもアンケートというような形で状況の確認をしています。特に昨年度は30部活初めて部活動指導員ということを始めましたので、それを体験した子どもたちに以前と比べてどうか、とアンケートを取ったところ、技術的な指導を受けられるようになってよかった、というような回答をいただいています。

【岡委員】

基本的には事後で取るということなんですよね。恣意的にならなければいいなと思います。「減少しましたか?」とか「意欲が高まりましたか?」と聞けば、なんとなくそちらに付けなきゃいけないと思ってしまうところって、調査では大きいと思います。教員の負担の場合、負担と感じている人の数字が減ればいいと思うんですけども、子どもの成果の指標として、あんまり恣意的にならないようにした

らいいかなと感じたので発言させていただきました。

(4)「新宿区スポーツ環境整備方針」(素案)に対するパブリック・コメント等の実施結果及び「新宿区スポーツ環境整備方針」(案)の策定について

・生涯学習スポーツ課 資料説明 資料1～4

<質疑応答>

【奈良委員】

スポーツ推進委員もこのパブリック・コメントの中に入っている青年教室とか色々な行事には参加させていただいてるんですけども、施設に伺った際に施設の用具がしっかりそろってない時があるかなと思っています。私も、遊び場解放で小学校の放課後広場によく行かせていただくんですけど、その時に小学校の機材、ポッチャだったり、輪投げだったり、ユニカールだったりを指導させてもらってるんですけど、その用具がボロボロというかあまり整ってないところがあったりします。やっぱり小学生も使うものですのでそういうところもしっかりしていただいいのかなと感じております。

【村上委員】

老人クラブの一番の問題は、参加者が非常に多くて元気な人が多いんですけど、ここに書いてあるように施設の場所がない。年寄りで遠くまで行けないので、地区に場所がないとそのクラブはもうやってないという話が出てくる。

だいたい輪投げが約260人以上、グランドゴルフも240名ぐらい参加して年に3回、グランドゴルフ2回、輪投げ1回をやっているんですけど、残念ながら出てくるクラブがほとんど関係のあるクラブだけになってきてしまっている。新しい方をなるべく入れたいといつも思ってやっている。残念ながらここに、いろいろ施設の話がいっぱい出ていて、学校の取組としてはいいのかもしれないんですけど、おじいちゃん、おばあちゃんが学校に行けるのかという話になると、なかなかその辺は行けないんじゃないかなという悩みがあります。

それからポッチャにしても今、中央、港、新宿と3区でポッチャをやっているんですけど、残念ながら新宿区は施設の問題があったり、ポッチャの環境が少ないので中央区、港区とはポッチャに関しては遅れてると感じています。老人クラブでもポッチャをやろうという話まではいくんですけど、道具がないという問題が出てきちゃって、前に進まないというのが現状です。

【藤原委員】

すごく丁寧な説明ありがとうございました。この後どういったふうに進めていただけるかな、ということに、興味があります。

質問で、前回の会議の時にも話題に出たかなと思うんですが、一般の方が見るのは、この概要版が多いので、これに興味をわくようなデザインみたいな話があったと思うんですけども、これは完成形ですか。

【生涯学習スポーツ課長】

デザインのイメージとしてはだいぶ完成形に近づいています。前回会議から変わった点で言うと、写真を入れたり、カラーも冊子に揃えています。これも案なので、もしご意見をいただけるようでしたら、手に取っていただけるようにしたいと思っています。

【藤原委員】

好みだと思うので何とも言えないんですけど、表紙は可愛くていいかなと思ったんですが、開いてピックアップ事業の写真について、どれが何なのかっていうのが分かりづらいと思います。例えば、1ページ目の必要性和目的っていうところの写真ぐらいの感じだと何をされていて、どういうことかというのが分かるんですけど、スペース的に小さいところもあると思うので見た目を考えていただけたらいいかなということがあります。

あと文言的には分かりやすくまとまっていきたいかなと思うんですけど、個人的に裏面について、多分新宿区の形だと思うんですけど、パッと見なんだかよく分かりませんでした。私はよくよく見ると、これ新宿区なんだと思ったんですけど、例えば視覚障害の方だとわからないと思います。障害じゃなくても高齢者で弱視の方とかもいらっしゃる。そうすると明暗がすごくわかりづらかったりするのは、前回もお話をさせていただいたと思うんですけど、ユニバーサルデザインに考慮していただけたらいいかなと思いました。個人的な好みも入って申し訳ないんですけど、よろしくお願いします。

【生涯学習スポーツ課長】

写真について貴重なご意見ありがとうございます。鋭意努力したいと思います。色については、ユニバーサルデザイン、視覚障害にも配慮したカラーは意識しているところですが、更に見やすくなるよう検討します。

【只野委員】

今年度初めて参加させていただいて、いろいろ勉強させていただきました。どうもありがとうございます。今さらのようにスポーツってすごいな、スポーツの力をあらためて思いました。7年前に私の所の地域にある西新宿小学校の男性会長がPTA会長になったんですけど、役員だけがいつも苦勞してて、ちっともお手伝いがない。会長がソフトボールクラブを作っているかと学校になげかけて、じゃあやってみようってことで、ソフトボールクラブを作って週に1回とか月に何回とかっていうふうに、クラブ活動を自分たちでやっていて、そこで育った男性、要するにお父さんたちが行事の時に声かけすると集まってくるようになったんです。とてもPTA活動が活発化して、育成会としては餅つき大会を毎年やっていて、つき手に非常に苦勞してたんですが、若いお父さんたちが先を争って参加してくれるようになって、やっぱりソフトボールが核になって興味を持ったお父さんたちが集まってくれた副産物なのかなと思って、今更のようにスポーツの力を実感しました。

【新谷委員】

新宿スポーツセンターで館長をしております新谷と申します。非常にご丁寧なご説明で、特に質問はないんですけども、ご説明の中で、新宿スポーツセンターでポッチャコーナーを常設したという話あり

ましたので、簡単に補足をさせていただきたいと思います。昨年の12月末から1階のロビーでポッチャ体験コーナーを設置しております。年末は少なかつたんですけど、年が明けまして小さなお子さまを中心に50人程度の方にご利用いただいております、非常に好評で、障害者スポーツの発信につながっていると感じております。

【武内委員】

先ほどからパブリック・コメントの中の民間活力を使って、というところがあって、この資料の31ページのところに入ってるかもしれないんですけども、実は小P連でも、早稲田大学さんといろいろ行っています。前任の会長が早稲田のOBだったので、そういった形で、民間活力は、新宿区はいっぱいあると思うんです。

西新宿七丁目町会の子ども縁日で、青年部長だった時に近所の東京調理製菓専門学校の方が地域貢献したいということで、去年の縁日では学生の方とも話をしてメニューを決めて参加してもらったんです。それが広がって、今度は一緒に参加してくれないかなという形でどんどん広がってきている。実は学校とか、専門学校も地域に入っていきたいというのがあるみたいです。ですから、このパブリック・コメントの方ももっともなご意見だなと思いました。

先ほどの課外クラブ、民間委託のところも例えば早稲田の部活の方、代表クラスの人にはできないでしょうけれど、同好会とかいろいろあると思います。学生さんの方もそういう実施する、力を発揮するっていうニーズもあると思います。さっきの課外スポーツも多分そうだと思いますし、民間活力っていうところでは、すごく楽しみなんじゃないかなって思いました。

【神田委員】

今課長の方から詳細に関して、また意見に対して、どういう対応したか、非常に分かりやすく説明をしていただきました。やってる内容に関しては、もう非常に素晴らしい。ベースの部分をしっかり掴んでいるんだなっていうのを感じたんですが、10月31日に説明会がありましたが、お集まりいただいたのは、ここに写真も載っていましたが6人しか来ない。スポーツ協会としては、これは是が非でも出席しようと言ったんですが、うちの方から5、6人、それしかなくて。それはどういうことが言いたいかという、この環境会議のメンバーも名前が出てくる可能性もあるわけで、できたものに対しては意見を言います。これが冊子ができ上がった中で、ここはもっとこうすればよかったというようないろんな意見が出てくるかと思うんです。これは熟知して中をもう一回精査をして、かみ砕いて、我々もそれに対応して説明をする立場にあるんだなっていうのを思い知ってる次第でございます。

概要版に関しては多少色合いとか先ほど意見が出ましたけど、絵の形とかもありますけど、あらためてこれを進めていただければと思います。

最後にもうひとつ。17日にスポーツ関係者の新年会があります。皆さんにご足労をいただきます。

26日は、朝6時半から4時半までの拘束で、ハーフマラソンがあり、ボランティアもスポーツ協会だけでも250くらい的人数が出てくるかと思えます。今日の会議が連休明けの火曜日の10時からという、お仕事をしている人には非常に厳しい時間帯だなというのもありまして、協力はしていきますが、その辺の配慮もいただければ非常にありがたい。賀詞交換会も5日の日曜日で、なかなか厳しいものもありましたもんですから、すみません。自分の意見がほとんどでした。どうもありがとうございました。

【岡委員】

私からは、ご意見をお聞きして、先ほどの色の問題がすごく大事なことだと思っています。内容が良くても、それをみんなが手に取ってみたいものなのかどうかに関係する。見たとしてもよく分からないということだと、英知を結集して作ったものが広まらないということになりますので、すごく大事な意見として受け止めて、また工夫をしていただけるのがいいんじゃないかなと思いました。

それからもう一点、私は新宿らしさということをずっとこだわってきました。この会議の中では私は、「この計画どこに新宿らしさがあるんですか？」という話をずっとしてきたかと思います。先ほど、武内委員から話があったように民間活力、まさに、都市部のエリアの中で多くの企業があるなかで、ご指摘いただいている点っていうのは本当に大事だと思います。さらに、これが加わることによって、新宿らしさが増したんじゃないかなと私は思っています。さっき話が出ましたけれど、具体的に何をするのか、ひとつでもふたつでも取り組んでいけるようなことがあるといい。一気に全部は難しいと思います。だけど、民間は民間でやっぱりいろいろ考えて動いてますので、そこにうまく乗っかったりして、場としての新宿、あるいは仕組みとしての新宿を、うまく民間と連携して進めていけたらいいと思います。せっかくこの計画を立ててますので、新宿ってスポーツ振興すごいな、スポーツ推進すごいな、というふうに言われるような街に、進んでいっていただけたらというふうに思っています。

【新宿未来創造財団 加賀美事務局長】

スポーツ栄誉賞について初めてこういう形で記載を入れているという形でいいと思うんですけど、そもそも「スポーツ栄誉賞ってなんなんだ？」というところを簡単に説明を入れたらいいと思うんですよね。どういう時にこの栄誉賞を設けて、どういう方が対象になるのかという一言、この中に入れていただければいいかなと思います。

先ほど委員の中から意見がありました、写真について、説明がないとわからない。確かに私もそう思います。知っている人は見れば分かるでしょうけど、区民の方が見た時に、随所に写真が載せられますけど、何の写真なのかっていうのは、入れておいた方がいいと思います。

それからマラソンのコラムがあるんですけど、このマラソンはオール新宿で、支えていただいているというところで、医療従事者であるとか、警察消防と関係団体、あと協賛企業の協力をいただいた上で実施していますので、そこら辺も入れてもらえればいいなと考えていますので、よろしくお願いします。

最後にスポーツの定義なんですけど、身体的活動がないとスポーツと言えない、多分国もそうです。そのときeスポーツはどうなるのかという問題があって、eスポーツでもVRゴーグルとかARゴーグルを着けながら体を動かすスポーツもあります。一方で囲碁とか将棋とかチェス、いわゆるマインドスポーツですね。これもくくりによってはスポーツの中に入れてますけども、区において、あるいは国においては、囲碁とかチェス、将棋は定義から外れます、ということをはっきり言っていると思います。

【生涯学習スポーツ課長】

スポーツ基本法の中では先ほどご紹介したとおり、身体活動を伴う、というような表現になっているところですよ。

【新宿未来創造財団 加賀美事務局長】

これが最初読んでいて、どうなるかわからない。VRの方も体を動かすのは、スポーツに入れるという方向でいいんですか。ゴーグルを着けながら体を動かすスポーツもあります。

【生涯学習スポーツ課長】

そういったものも体を動かしていればスポーツに含むということになります。

【新宿未来創造財団 加賀美事務局長】

分かりました。そういう整理でいいですね。

【生涯学習スポーツ課長】

写真は分かりやすくなるよう検討していきます。ありがとうございます。

(5) 各団体（個人）におけるスポーツ環境や活動に関する情報提供

【武内委員】

8月25日に先ほど申し上げたとおり、早慶のサッカー定期戦が国立球場で行われました。そこにサッカーとチアリーダーといろんなことを教えてもらうということで300人ぐらい参加しました。その後、10月20日に6校参加で上落合の野球場でソフトボール大会がありました。ソフトボール教室も合わせてやっておりまして、大会は落四が優勝しました。

それから10月24日には、FC東京の体験教室ですね。FC東京さんがみえまして、今回当選したのが四谷小なんですが6時間目の授業で子どもたちの指導してくださいました。

それから11月16、17日でバレーボール大会、これは14チームで21校、合同チームがありますので、21校の学校で、優勝したのも合同チームの早稲田と鶴巻、落四さんの合同チームでした。今後も、合同で参加するっていうのは流れになっていくと思われま。

それから11月11日にクリアソン新宿の国立競技場の試合の招待がありまして、残念ながら勝てませんでしたが、参加させていただきました。

それから1月19日に卓球大会を16チームで行います。これは14校で各校単独なんですけれども、2チームで出る学校があるので16チームになってます。

【金子委員】

新宿区レクリエーション協会からの情報です。こちらのピンクの冊子、これは昨年の11月9日にコズミックスポーツセンターでやらせていただいたレクリエーションフォーラムの第9回目になります。これはレクリエーション協会が主催してますが、社会福祉協議会、新宿区、それから新宿未来創造財団財団のご協力のもとに成り立っているフォーラムです。「障害あるなしにかかわらない共生社会とは」ということについての勉強会です。今年の桜美林の谷口先生からご講演いただいたんですが、一番記憶に残ってるのは、私たちは障害のある方に配慮をします。その配慮が私たちの側からの配慮で、それが合ってるか、本当に望んでるかということに気が付くのが今回のフォーラムだったかなと思います。

それと新宿区の現状、今回だけで学びきれなかったものですから、来年も同じテーマでやりたいと思っています。レガスの方で会場をおさえていただいて、今回は11月8日の土曜日です。よかったら一度覗いてみてください。

それと、パラスポーツレクリエーション広場。これは東京都の支援学校活用促進事業をレクリエーション協会が受託してやっています。全2回です。今日の日曜日、場所は北支援学校と言って十条の方です。北区でやります。どなたでも参加できます。障害がある方もない方も一緒にやっています。これが今後の私たちがスポーツをやっていく上で必要なことかなと思います。障害があるからとかないからとか言わないで、参加したい方に来ていただいて、そこでスポーツをできるようにお互いに配慮・支援しながらやっている広場なので、よかったら見ていただくといいと思います。新宿でも今は障害のある方の教室があると思うんですが、そのうち一緒にやれる教室があってもいいんじゃないかと思うのでレクリエーション協会は今、それを考えてます。

【新谷委員】

先ほどeスポーツというワードが度々出てきているんですけども、新宿スポーツセンターでは、3月下旬にeスポーツの体験会を実施いたします。イベントの内容としましては、波動というAR拡張現実を用いたスポーツとゲームを融合させた次世代のスポーツとなります。ゴーグルとアームセンサーを装着して、魔法のような技を発動させて仲間と一緒にプレイするという内容になります。こちらのコンテンツに関しては、学校の授業とか企業の研修等に活用されているコンテンツとなります。今後も新たな取組みとして、こういったイベントを実施していきたいと考えております。

【奈良委員】

昨年の10月から各地区で行われてましたコミュニティスポーツ大会について、12月に中央大会ということでコズミックセンターで行われました。そこにはスポーツ推進委員が審判とか競技内容で携わらせていただいております。今後も事業について財団の方とか、生涯学習スポーツ課と相談しながら進めていきたいと思っております。

【神田委員】

スポーツ協会所属のサッカー協会からのご案内ですが、地域との連携による人づくり、まちづくり。これが大きな目的でございまして、クリアソン新宿は包括連携協定を新宿区とさせていただいております。子どもたちにも感動も与えていきたいなということです。

7、8人、素晴らしい選手の補強もできましたので、19日に新体制の発表会があり、いよいよ始動します。3月9日が開幕になります。今年もそれがひとつの引き金になって、地域のイベント、祭り、それからほかのスポーツ団体に協力できるように、ご活用いただいて、みんなでひとつの楽しみになっていけばと思います。

【事務局】

生涯学習スポーツ課の事業を紹介させていただきます。お配りした「新宿ゆにスポ」のチラシをご覧ください。何度かこの場でもご説明しておりますけれども、今年度から主な対象を、障害者の方で学校

を卒業されて運動機会が無くなってしまった、そんな方をメインの対象として「新宿ゆにスポ」という事業を始めさせていただきました。種目としましてはダンスとか、ボディケアプログラムやサッカーボウリング、これも先ほど話題に出ておりますクリアソン新宿に委託をしている事業です。あとは体の動かし方などを開催をしております。スケジュールですが、既に3回実施をしております、今後もう3回実施をしたいと思っております。今まで多いと40名ぐらいの方が来ていただいております。また、これは配信もしておりますので、配信で見ていただいている方もプラス何名もいるといった状況です。四谷スポーツスクエアでの開催は場所が行けないというようなことがあり、参加者が非常に少ない状況でありますけれども、新宿スポーツセンターで開催をしたときには、何人もの障害の方が来ていただいているような状況でございます。決して障害の方だけが参加できるような取組みではありませんので、ぜひ皆様方も来ていただく、あるいはご紹介をしていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

もうひとつの事業、車椅子テニス教室になります。これは吉本興業に委託をしている事業になります。今年度は年間12回体験教室を実施しています。構成としましては、吉本興業のお笑い芸人の方にお越しいただいてトークショーをします。もちろんその中には、日本を代表する方に入らせていただいているトークショーを行った後に、今回はパリパラリンピックの日本代表の方にお越しいただいて、車椅子テニスの教室をやるといったものです。年間12回の教室体験には、ものすごい人数の方が希望していただいております。最高倍率だと去年7倍ぐらい。なかなか当たらないというような苦情にも繋がっている事業になっておまして、年間12回ほどこのような事業を実施をしているところで。

【新宿未来創造財団等担当課長】

先ほどから、取り上げていただいております新宿シティハーフマラソン区民健康マラソンにつきまして、情報をお話しさせていただきます。この方針の中では支えるスポーツの代表例として、取り上げていただき大変ありがとうございます。今回、22回目になります。1月26日の大会に、ボランティアの方1800名ほどご協力いただきいただきまして、今準備を進めているところでございます。今日お配りしましたのは、1月26日に行うジョイントイベントのチラシです。

スポーツのイベントとして、見るスポーツというところもあります。当日ランナーとしては1万4千人を超える登録をいただいております。参加者の方もあるいは応援の方も、従事していただく方も休憩の時間に、ぜひお楽しみいただきたいということで、ジョイントイベントをご用意しておりますので、皆様、ご参加いただければと思います。1件だけ表の面に、過去のシティハーフマラソンをご覧になった方はご存知かもしれませんが、猫ひろしさんがゲストランナーとしてここ数回参加していただいていたんですが、今回は予定が合わなくて、チラシにありますとおりワタリ119さんがランナーとして参加していただくということが決まっておりますので、こちらもお楽しみいただければと思います。

(6) その他

事務局から次年度の委員の推薦について説明

(7) 閉会